

理事長所信

【はじめに】

(一社) 笠間青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現のため、永きに亘り様々な変革を積み重ね、歴史を紡いできました。私は 2008 年に 25 歳でこの笠間青年会議所に入会し、10 年の歳月が流れようとしています。現在の私をかたちづくるものの多くは、至らない点の多い私に対し、先輩諸兄からいただいた厳しくも温かいご指導や、任された役割をこなす中で形成されたといっても過言ではありません。私がこれまで出会った先輩諸兄は、常にこの笠間・桜川地域と笠間青年会議所の発展を第一に考え、力の限りを尽くされてきました。困難が立ち上がった際には、自分ではない誰かのために時間を作り、口に出さずとも助け合い解決してきました。それは、それぞれの価値観は違ったとしても、一人ひとりが運動に真摯に取り組み、認め合う相互尊重の精神があったからです。歴史と伝統を受け継いできた笠間青年会議所だからこそ、この精神は受け継がれていかななくてはなりません。私自身、「大変だから」「時間がないから」「誰かがやるから」などと考えていた時期がありました。しかし、時には助け、助けられ、協力しあうことでそれらを乗り越えることができました。そのような経験をするとともに新しい自分を発見することができたと感じています。青年会議所は人生最後の学校とも言われています。真摯に取り組むことで、地域の発展に寄与することができ、自らも成長できる団体です。様々な経験を通し、成長した人材をより多くしていくことが、組織の強化につながっていくと考えます。会員各位の協力なくして成功に導くのは困難です。共に明るい豊かな社会を創り、未来へつなげて行きましょう。

【自己啓発】

近年笠間青年会議所は、経験豊富なメンバーの卒業により入会 3 年未満のメンバーの割合が非常に多くなり世代交代が急激に進んでいます。これからの LOM や地域を牽引する若い人材の育成は喫緊の課題です。青年会議所の宝は紛れもなく「ひと」であり、青年会議所メンバー一人ひとりの成長がなければ LOM の成長はありえません。メンバー一人ひとりが JAYCEE として成長し、地域を牽引するリーダーでなければならないと考えます。JC の行動規範、流儀・作法は長年各地青年会議所で受け継がれてきたものですが、JC メンバーの平均在籍年数が短くなっていることで体得や伝承が難しい時代になってきているのが実情です。青年会議所という組織にいる JAYCEE だからこそ、同じ時間を共有するメンバー同士が互いのことを思い、相手の立場に立って行動できる模範となれるひとを目指さなければなりません。ひとはひとでしか磨かれず、自身を成長させてくれる仲間との出会いがその後の生き方をも変えてくれます。青年会議所という学び舎で様々な

経験を積み、成長する事で地域のリーダーとして活躍できる人財になれるよう努力していきましょう。

【次世代育成について】

地域に住まう子ども達は、次代を担う存在であり地域の宝です。家庭や学校はもちろん、地域が一体となり育てていかなければなりません。近年、少子高齢化や人間関係の希薄化等、子ども達を取り巻く環境が大きく変わる中、子ども達の直接体験は減少傾向にあると言われていています。特に、地域社会との関わりをもつ機会が乏しくなっており、そのことが、子ども達の他者や地域に対する関心の低下の原因となっていることが指摘されています。従来、子ども達は身近な地域の中で、豊かな自然や地域の方々との触れ合いを通して、創造する、工夫する、困難を克服するといった機会を得ていました。また、屋外で遊ぶ際に自ら遊びを考案し、遊びのルールを友達同士で取り決める等の経験を重ねるなかで、周囲と協調することや規範意識を遵守することの重要性を直接学んでいました。しかし、子ども達の直接体験が不足することで、このような創意工夫や協調性をはぐくむ機会が減少していることが懸念されています。地域の人々の誰もが自分の住む地域に誇りと愛着を持ち、その中で、地域の大人が手を携えて、子ども達を育てていく環境を醸成することが必要だと考えます。責任世代である私たちが体験活動を展開し、地域の子どもの成長を温かく見守り、共に育ててまいりましょう。

【会員交流・拡大について】

会員拡大は、青年会議所活動をこの地域に広げる事を目的とした永遠の継続事業です。会員拡大はなぜ必要なのでしょう。我々の運動は小さな事から始まりますが、それを多くの人達と共有することで、より多くの喜びにつながっていくと確信するからです。たった一人の無謀な夢はたわごとと言われるかもしれませんが、それを支える人が増えるとどうなるでしょう。まとまることで大きな意志となり、やがて、無謀と言われた夢は実現していきます。つまり、夢を持つ人たちが繋がる事で大きな力を生み、それによって地域は変わるのです。私達が行っている青年会議所運動の目的、日々の活動から得た経験や達成感を伝え、私達の活動に共感して頂く事で魅力を知ってもらい、一人でも多くの仲間を増やせるように全員が当事者意識をもって活動していきましょう。

【結びに】

私たちは自分自身の決断により青年会議所に在籍しております。であるならば、青年会議所が自分達に何かを与えてくれるのを待つのではなく、自分達が笠間青年会議所の為に何をできるのかを考え、行動しなければならないと思います。青年会議所は40歳を迎えると卒業します。限られた時間の中で何事にも積極果敢に挑戦し、成功や失敗を繰り返す中で活きた経験を積むことが出来ます。信頼し合える仲間達と真剣に議論を繰り返し、悩みながらも前を向いて進んで行きましょう。JCに出会いが溢れていることに間違いはありません。しかし、それを生かすも殺すも自分次第です。